

2025 年度 一宮市デジタル田園都市構想推進会議 議事録(要旨)

- ・日 時:2025 年8月 22 日(金) 午前 10 時 30 分～11 時 30 分
- ・会 場:一宮市役所本庁舎6階 特別会議室
- ・出席者:委員 18人 ※欠席委員3人
- ・傍聴者:0人

1 開会

新委員の紹介、総合政策部長あいさつ

2 議事

(1) 一宮市デジタル田園都市構想総合戦略で取り組む事業の進捗状況等について

- 事務局から資料1、2について説明
- 議題1について委員からの意見と事務局回答

▽委員からの意見

- ・ 結果指標的には、合計特殊出生率が目標のラインに届いていないことが一番問題である。
- ・ 結果 KPI(合計特殊出生率 1.72 の目標)を達成するために、プロセスとしてどのような KPI(=プロセス KPI)を置くべきなのか、また、どの施策が一番効いているのかという仮説を置きながらチャレンジしていくことが大切である。
- ・ 仮説ベースでもよいので、予算配分との関連性も含めて、目標を達成するにはどの施策が一番効いているのか、また新たに追加する KPI はあるのかを教えてほしい。

▼事務局回答

- ・ 様々な分析があるが、直接的なものは結婚と考えている。それを少しでもしやすい環境が大きいと考えている。
- ・ 働きながらの子育てを支援していくことが、これから子どもを産んで育てていけるという安心に繋がっていくため、大きく影響すると考えている。

▽委員からの意見

- ・ コロナ禍前では、社会増になると合計特殊出生率が下がるという状況があった。結局のところ、婚姻や出産をしない方が転入して増えていた。
- ・ コロナ禍で移動が減り、社会増の人数が減っている状況になっている。
- ・ 調査は行っていないが、コロナ禍で働く場所が増えていない感じはある。
- ・ 人口構成まで調査しないと細かい分析はしづらいかもしれない。

- ・ 育児休業の取得率は、合計特殊出生率とほぼ関係がない。また、ほとんどのものが直接的には関係がない。
- ・ これらを踏まえると、KPI そのものをなんとかするという話になる。

▽委員からの意見

- ・ 今後の方針として、原因部分にプロセス KPI を置いた方がよい。

▽委員からの意見

- ・ 一宮市では婚活イベントをやっているが、婚活イベントは合計特殊出生率に関係があるか。

▽委員からの意見

- ・ 一宮市のデータは持っていないが、他の県で調査した。若い人はマッチングアプリに移動しており、婚活イベントに参加する方は年齢層が高い方が多い。そのため、婚活イベントでの婚姻により一宮市に来て人口が増えることはあるかもしれないが、子どもの数が増える訳ではない。

▽委員からの質問

- ・ 基本目標2の KPI「建築規制緩和の適用による建築件数」は2件となっているが、具体的な情報はあるか。

▼事務局回答

- ・ 担当課に確認し、後日回答する。
(回答)

この KPI は累計の数値であり、2021 年度の「プラウド一宮」(栄一丁目のマンション)と、2024 年度の「JES 一宮ビル」(本町二丁目のテナントビル)である。

まだ実績は少ないが、容積率の緩和により、中心市街地の限られた土地を有効に活用することができると考える。

▽委員からの質問

- ・ 基本目標5の KPI「交通安全の啓発活動回数」は、自分たちでコントロールできる数字と思うが、目標を達成できていないのは、何か状況が変わったのか。

▼事務局回答

- ・ 基本的には依頼に基づいて実施するものである。事業の周知は図っているが、不十分であるため、担当課へ伝える。

▽委員からの意見

- ・ 出生率の問題を結婚と絡めて考えるのは、時代遅れで問題である。
- ・ 「デジタルとグリーン」の分野は、良い評価に見えているが、特に「緑化条例の適用による緑地面積」については、増加するのは当然であり、これから本当に間に合うのかの方が大切である。
- ・ 動きのある KPI にするために、各担当部署が事業を評価し、そこからどうプランを立てるのか、といった未来像を語ってほしい。

▽委員からの意見

- ・ 犯罪発生件数について、2019 年度と比較すると減っているが、2022 年度と比較すると 500 件ほど増えている。
- ・ 犯罪発生件数を減らすために、こういった施策が有効と考えているのか。全国的には、防犯カメラの設置により犯罪発生件数が少なくなっているというニュースを聞くが、一宮市では同じような状況なのか。また予算の執行状況を教えてほしい。

▼事務局回答

- ・ 2024 年度は町内会が設置する防犯カメラへの補助であった。2025 年度から、一般の市民が設置する防犯カメラにも補助をしている。
- ・ 1,000 件ほどの申請を見込んで予算を立てたが、既に執行率 50%を超えている。この補助金による防犯カメラの増加の結果、犯罪発生件数が減るのかを見ていきたい。

▽委員からの意見

- ・ 今年の一宮七夕祭りの人出は何人か。

▼事務局回答

- ・ およそ 103 万9千人である。

▽委員からの意見

- ・ 七夕祭りと連携した事業を色々やっているようだが、一宮七夕祭りの人出は将来的に増える方向で考えてよいか。

▽委員からの意見

- ・ 昨年は人出が減っている。原因は分析中であるが、猛暑ではないか。

▽委員からの意見

- ・ 七夕まつりは、70 年の歴史がある。この先は、110 万、120 万人にするのではなく、中身の濃い七夕にしたい。

- ・ 以前、5 日間で開催していた時は、150 万人の人出があったが、私は数値よりも中身、そして歴史であると考えている。今、第 70 回であるが、第 100 回までいけるような仕組みを作っていけないといけない。

▽委員からの意見

- ・ 基本目標 4 の KPI「雇用促進奨励金の交付対象者数」に関連して、一宮市は、雇用が多い製造業ではなく、物流拠点多い。市として、どのような企業誘致の施策で企業に働きかけているのか。製造業であれば、市内の雇用が増え、労働人口の社会増も期待できる。担当課に、企業誘致の方向性を確認してほしい。
- ・ 基本目標 4 の KPI「創業相談件数」について、中小企業相談所では、新型コロナウイルスの補助金の関係で慌ただしくしており、個別訪問に行くことができなかった。昨年度くらいから落ち着いてきており、個別での訪問を実施しているため、今年度から数値が増える方向である。

▼事務局回答

(担当課(産業振興課)へ確認)

- ・ 企業誘致において、業種は区別していない。一宮市は、交通の利便性が高いことから物流の需要が高くなっており、結果として物流拠点が増えてきている。

▽委員からの意見

- ・ 都市銀行や証券会社が中心市街地から移転してしまうのは、民間の力では何ともならない部分である。行政は、まちづくりという観点から、きちんと方向性をもっていただきたい。せっかくまちなかウォークブル事業がうまくいっている中で、移転してしまうことについて、行政としてどう考えているのか。

▼事務局回答

- ・ 行政でできることを超えて、さらに高いレベルとなると、何とも言えない部分ではある。中心市街地は、市の非常に重要な部分なので、できるだけ発展するようなことを考えていかなければいけない。

▽委員からの意見

- ・ 役所として、まちづくりという観点から指導されてはどうかと思っている。

▽委員からの意見

- ・ 事業者が応援したくなるように、行政で旗を振っていただけると協力しやすい。明確なビジョンをもって進めていただきたい。

▽委員からの意見

- ・ 中心市街地の活性化について、東京から偉い方を呼ぶのではなく、各連区の地域づくり協議会など、市民の意見を先に聞いてほしい。
- ・ いちのみや応援寄付金について、魅力のある返礼品を発掘し、寄付件数が増えるようにしてほしい。

▽委員からの意見

- ・ 合計特殊出生率について、今の若い世代は、奨学金を借りたりしてお金がないし、その親世代もお金がない。また長時間労働の現状が変わっていない。お金も時間もない中で、子どもを産んで育てるのは厳しい。
- ・ 育児休業は少子化の特効薬にはなっていないように思う。
- ・ 地方からもっと声を上げていかなくてはいけない。外国人労働者も増えている。
- ・ 今やっている施策だけだと限界があるような印象がある。

(2) 国の交付金等を活用した事業について

○事務局から資料3について説明

○議題 2 について委員からの質問と事務局回答

▽委員からの意見

- ・ 地域ブランド調査の認知度とは何か。

▼事務局回答

- ・ 株式会社ブランド総合研究所が独自にアンケート調査を行い、点数付けしたものである。

(3) 閉会